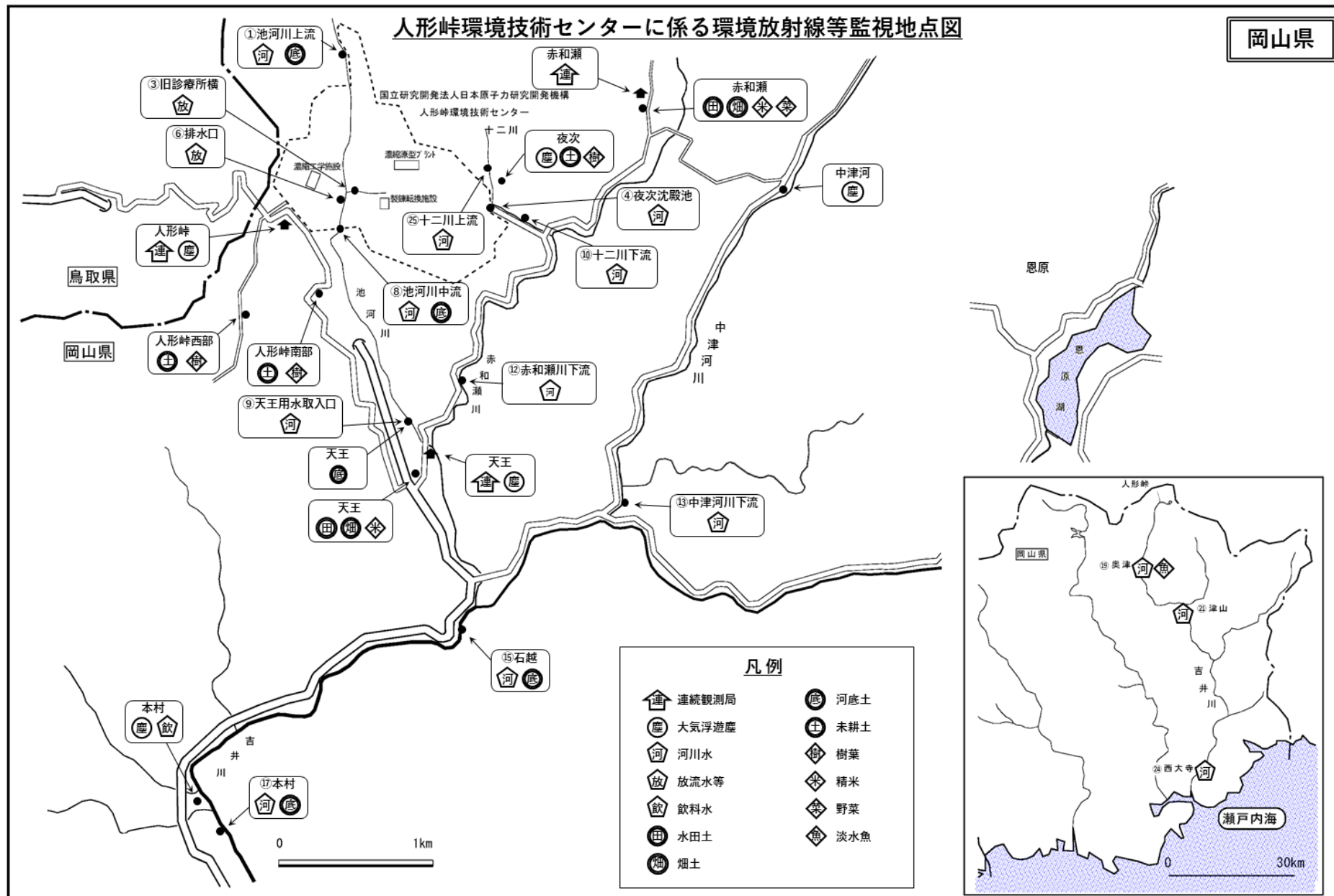


令和 7 年度
人形峠周辺環境放射線等測定結果
＜ 概 要 版 ＞

目 次

1	人形峠環境技術センター周辺に係る監視測定結果・・・・・・・・	1
2	中津河捨石堆積場に係る監視測定結果・・・・・・・・・・	5
3	参考・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・	8

1 人形峠環境技術センター周辺に係る監視測定結果



(1) 連続測定結果

ア 空間γ線線量率

単位：μGy/h

観測局		測 定 結 果													過去の測定結果					管 理	法令値
		4 月	5 月	6 月	7 月	8 月	9 月	10 月	11 月	12 月	1 月	2 月	3 月	年間	6 年度	5 年度	4 年度	3 年度	2 年度	目標値	
人形峠	平均値	0.059	0.061	0.061	0.062	0.063	0.062	0.062	0.062	0.058	0.038	0.033	0.051	0.056	0.055	0.059	0.057	0.054	0.057	0.087	1mSv/年 ≡ 0.143 μGy/h
	最大値	0.078	0.075	0.086	0.073	0.103	0.087	0.101	0.093	0.093	0.076	0.053	0.086	0.103	0.103	0.122	0.133	0.105	0.102		
赤和瀬	平均値	0.045	0.048	0.049	0.049	0.050	0.049	0.049	0.049	0.046	0.029	0.023	0.037	0.044	0.043	0.047	0.045	0.043	0.045		
	最大値	0.063	0.058	0.070	0.056	0.081	0.072	0.084	0.085	0.079	0.059	0.041	0.069	0.085	0.084	0.099	0.103	0.085	0.087		
天王	平均値	0.061	0.060	0.060	0.062	0.064	0.062	0.062	0.062	0.060	0.039	0.033	0.055	0.057	0.056	0.059	0.057	0.053	0.057		
	最大値	0.082	0.073	0.080	0.070	0.110	0.090	0.101	0.100	0.094	0.073	0.055	0.093	0.110	0.101	0.120	0.112	0.092	0.099		

注）平常の変動範囲（平成 27 年度～令和 6 年度） 人形峠：0.020～0.135 赤和瀬：0.015～0.120 天王：0.019～0.124

2

イ 大気中ふっ素濃度

単位：10⁻⁴ mg/m³

観測局		測 定 結 果													過去の測定結果					管 理
		4 月	5 月	6 月	7 月	8 月	9 月	10 月	11 月	12 月	1 月	2 月	3 月	年間	6 年度	5 年度	4 年度	3 年度	2 年度	目標値
人形峠	平 均 値	ND※1	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	3.3
	最 大 値	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	
	出現回数※2	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
赤和瀬	平 均 値	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	1.87	ND	ND	
	最 大 値	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	2.49	ND	ND	
	出現回数	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	2	0	0	
天王	平 均 値	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	
	最 大 値	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	
	出現回数	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	

※1 ND：不検出（以下同じ。）

※2 出現回数：検出された回数

ω

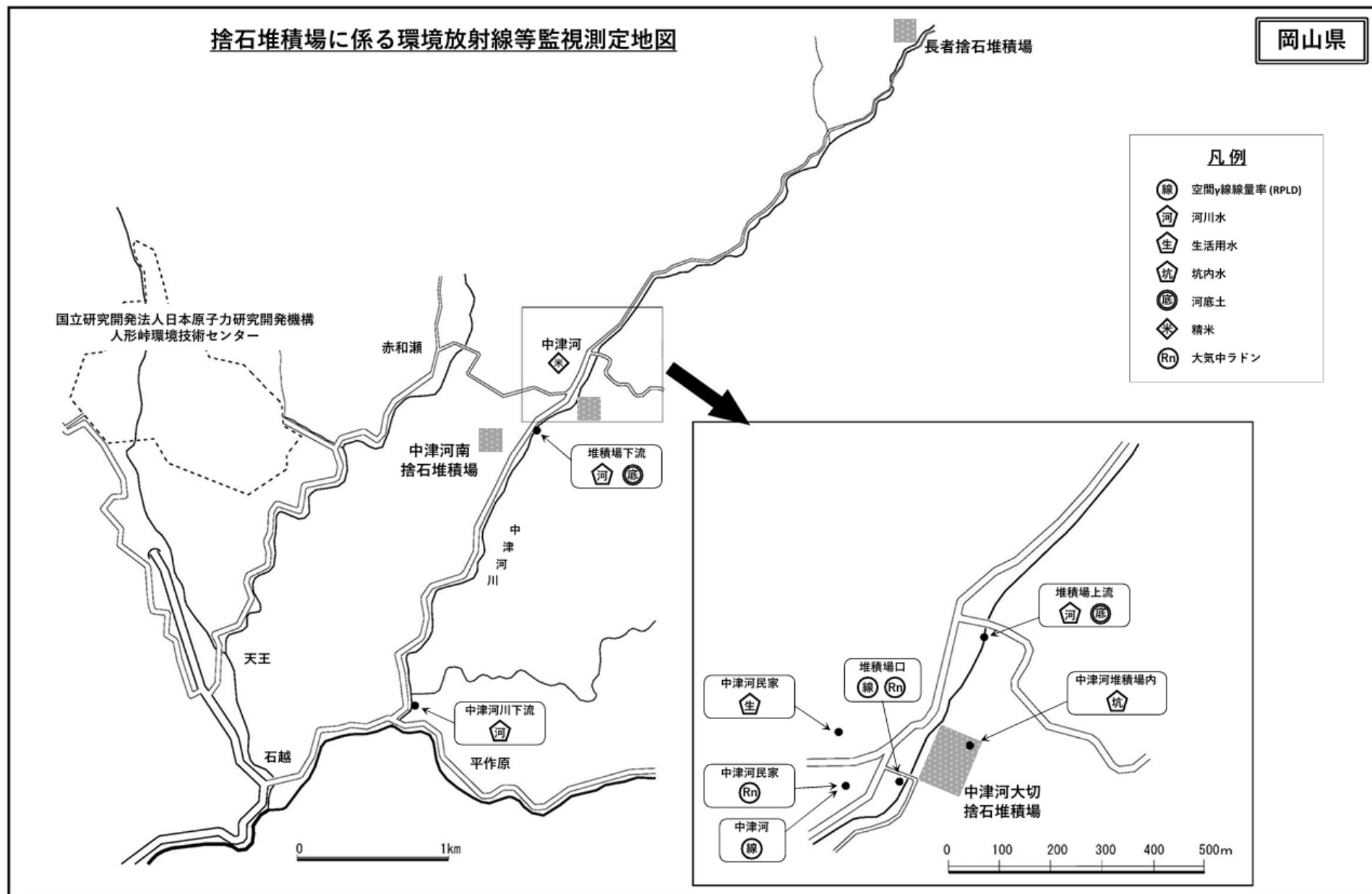
土壤

測定対象		測定地点数	実施数 計画数	測定結果		過去の測定結果					管理 目標値	法令値	単位
						6年度	5年度	4年度	3年度	2年度			
大気浮遊塵		5	10 10	平均値 最大値	ND ND	ND ND	ND ND	ND ND	ND ND	ND ND	1.4	20	×10 ⁻⁹ Bq/cm ³
河川水		13	46 46	平均値 最大値	<0.003 0.005	<0.003 0.009	<0.003 0.005	<0.003 0.006	<0.003 0.012	<0.003 0.006	1.1	20	×10 ⁻³ Bq/cm ³
河底土		5	10 10	平均値 最大値	0.014 0.028	0.015 0.029	0.014 0.021	0.016 0.031	0.017 0.039	0.021 0.053	1.8	—	Bq/g 乾
土 壌	畑 土	2	4 4	平均値 最大値	0.030 0.042	0.029 0.036	0.031 0.038	0.030 0.036	0.033 0.052	0.034 0.050	1.8	—	Bq/g 乾
	水田土	2	4 4	平均値 最大値	0.045 0.065	0.047 0.066	0.045 0.059	0.048 0.058	0.040 0.059	0.050 0.065	1.8	—	Bq/g 乾
計		27	74 74										

イ ラジウム (Ra-226)

測定対象		測定 地点数	実施数 計画数	測定結果		過去の測定結果					管理 目標値	法令値	単位
						6年度	5年度	4年度	3年度	2年度			
大気浮遊塵		5	$\frac{10}{10}$	平均値 最大値	ND ND	ND ND	ND ND	ND ND	ND ND	ND ND	7.4	400	$\times 10^{-10}$ Bq/cm ³
河川水		13	$\frac{46}{46}$	平均値 最大値	<0.7 <0.7	<0.7 <0.7	<0.7 <0.7	<0.7 <0.7	<0.7 <0.7	<0.7 <0.7	3.7	200	$\times 10^{-5}$ Bq/cm ³
河底土		5	$\frac{10}{10}$	平均値 最大値	0.050 0.073	0.049 0.084	0.052 0.083	0.046 0.076	0.054 0.094	0.058 0.112	1.8	—	Bq/g 乾
土 壌	畑土	2	$\frac{4}{4}$	平均値 最大値	0.053 0.065	0.040 0.044	0.053 0.065	0.044 0.055	0.048 0.059	0.053 0.064	0.74	—	Bq/g 乾
	水田土	2	$\frac{4}{4}$	平均値 最大値	0.064 0.085	0.058 0.075	0.060 0.086	0.053 0.066	0.059 0.073	0.061 0.072	0.74	—	Bq/g 乾
計		27	$\frac{74}{74}$										

2 中津河捨石堆積場に係る監視測定結果



(1) 空間 γ 線線量率 (RPLD)単位： $\mu\text{Gy/h}$

測定 地点数	実施数 計画数	測定結果		過去の測定結果					管 理 目標値	法令値
				6年度	5年度	4年度	3年度	2年度		
2	8	平均値	0.076	0.076	0.080	0.077	0.074	0.078	0.087	0.143
	8	最大値	0.093	0.096	0.095	0.093	0.092	0.094		

注) 平常の変動範囲 (平成 27 年度～令和 6 年度) 0.050～0.096 である。

(2) ウラン (U-238)

測定対象	測 定 地点数	実施数	測定結果		過去の測定結果					管 理 目標値	法令値	単位
		計画数			6年度	5年度	4年度	3年度	2年度			
大気浮遊塵	5	10	平均値	ND	ND	ND	ND	ND	ND	1.4	20	×10 ⁻⁹ Bq/cm ³
		10	最大値	ND	ND	ND	ND	ND	ND			
河川水	3	12	平均値	ND	ND	ND	ND	ND	ND	1.1	20	×10 ⁻³ Bq/cm ³
		12	最大値	ND	ND	ND	ND	ND	ND			
河底土	2	2	平均値	0.014	0.012	0.014	0.011	0.015	0.012	1.8	—	Bq/g 乾
		2	最大値	0.016	0.014	0.015	0.012	0.016	0.013			
計	10	24										
		24										

注) 大気浮遊塵については、人形峠環境技術センター周辺に係る監視測定 (サンプリング測定) 結果の再掲である。

(3) ラジウム (Ra-226)

測定対象	測 定 地点数	実施数	測定結果		過去の測定結果					管 理 目標値	法令値	単位
		計画数			6 年 度	5 年 度	4 年 度	3 年 度	2 年 度			
大気浮遊塵	5	10	平均値	ND	ND	ND	ND	ND	ND	7. 4	400	× 10 ⁻¹⁰ Bq/cm ³
		10	最大値	ND	ND	ND	ND	ND	ND			
河川水	3	12	平均値	ND	ND	ND	ND	ND	ND	3. 7	200	× 10 ⁻⁵ Bq/cm ³
		12	最大値	ND	ND	ND	ND	ND	ND			
河底土	2	2	平均値	0. 041	0. 034	0. 035	0. 027	0. 029	0. 031	1. 8	—	Bq/g 乾
		2	最大値	0. 044	0. 037	0. 035	0. 028	0. 036	0. 035			
計	10	24										
		24										

注) 大気浮遊塵については、人形峠環境技術センター周辺に係る監視測定（サンプリング測定）結果の再掲である。

【参考】

1 用語解説

・ベクレル（Bq）

放射能の強さの単位で、放射性物質の含有量を表す場合にも使われる。1秒間に1個の原子核が崩壊する時の放射能の強さを1ベクレルと言い、原子核の崩壊する数が多いほど、放射能が強いということになる。

・グレイ（Gy）

放射線のある物体に当てた場合、その物体が吸収した放射線のエネルギー量を吸収線量と呼び、単位としてグレイが用いられる。1グレイは、放射線を受けた物体1kgあたり1ジュール（J）のエネルギーを吸収したことに相当する。

・シーベルト（Sv）

放射性物質によって被ばくをうけるときの、人体への影響の度合いを示す単位のこと。この度合いは人体の組織によって変わるので、それを考慮して、放射線が人体に及ぼす影響（被ばくによるリスク）をはかる、ものさしとなる単位である。

2 人形峠環境技術センターの施設概要

・製錬転換施設

ウラン鉱石からウランを抽出、精製（製錬）し、濃縮工程で使用する六フッ化ウランに転換（ガス化）する施設である。人形峠では昭和51（1976）年から転換開発試験を開始した。昭和57（1982）年に製錬転換施設の運転を始め、平成6（1994）年からは回収ウランの転換実用化試験を行っていた。平成11（1999）年に運転を終了し、遠心機除染（滞留ウラン除去試験）に用いるIF₇（七フッ化ヨウ素）の製造を行ってきた。平成19（2007）年度末に全ての試験・研究を終了し、平成24（2012）年7月に主要な設備の解体・撤去を終了した。

・濃縮工学施設

当初「ウラン濃縮パイロットプラント」と呼ばれ、昭和54（1979）年から原型プラントができるまで、遠心法によるウラン濃縮の実用化試験を行った。パイロットプラントは平成2（1990）年3月に運転終了、その後「濃縮工学施設」と改称し、現在は、遠心機処理のための技術開発試験[※]を行っている。

※ 使用済遠心機の汚染部分の除染、機微情報消滅（核拡散防止の為、部品の形状等を消滅する）等の技術の検討・試験

・ウラン濃縮原型プラント

ウラン濃縮の商業化のため、昭和63年（1988年）から、六フッ化ウランを気化し、遠心機によりウラン235を濃縮・捕集してシリンダーに詰める一連の作業を通じ、遠心機の量産技術、機器設備の大型化・合理化等の研究開発を行ってきた。平成13（2001）年に全ての役務生産の運転を終了し、平成29（2017）年3月に、設備・装置内に付着した「滞留ウラン」の回収を終了した。令和3（2021）年4月に廃止措置を開始した。